

## 「広報いせ」特集記事制作プロジェクト

### 学びを形に、伊勢を伝える

伊勢市役所職員の方と連携し、大学生の視点で取材・撮影・記事制作を行うプロジェクトです。地域の魅力や、市民に身近な情報を市民に分かりやすく伝え、伊勢市の活性化に貢献できていると思います。取材や制作を通して得た学びや気づきを記事に反映させ、より魅力的で親しみやすい広報を目指しています。

**メンバー数** : 8名  
**活動場所** : 伊勢市  
**実施主体** : 伊勢市情報戦略局広報広聴課  
**担当教員** : 池山 敦 (教育開発センター)  
**活動年度** : H30, R01, R02, R03, R04, R05, R06, R07



#### 月別活動

- 5月 キックオフミーティング
- 7月 オープンキャンパス (パネル作成・展示)
- 9月 ミーティング
- 10月 2月号取材(大紀町)
- 12月 1月号手話体験  
2月号取材(明和町・伊勢市・志摩市・度会町・玉城町・南伊勢町)

### 1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

今年度も昨年度に引き続き精力的に活動させていただき、読者の方々に伝えたい現状や取り組みについて発信することができた一年だったと感じています。

7月には大学のオープンキャンパスにて、広報いせ特集記事制作プロジェクトの活動を紹介するパネル展示を行いました。来場された方々に、私たちがどのような思いで記事制作に取り組んでいるのかを直接伝える貴重な機会となりました。

1月号では「見える言葉『手話』で心をつなぐ。」をテーマに、手話について学び、実際に体験させていただきました。聞こえないことへの理解が広がることで、聴覚障がいのある方々が安心して生活できる社会につながることに気づきました。普段手話に触れる機会は少ないですが、挨拶や指文字を知るだけでもコミュニケーションの幅が広がると感じ、多くの人に手話を知ってもらいたいという思いで記事を制作しました。

2月号では、伊勢志摩定住自立圏域8市町合同特集を担当しました。各市町を調査する中で、これまで知らなかった魅力や地域ごとの特色に触れることができました。また、美しい自然や文化を守りながら、その良さをより多くの人に伝えていきたいという思いでこの記事を作成しました。

今年度もミーティングや取材などを通して多くの方と関わり、学びの多い一年となりました。この活動を行うことができたのは、記事の作成に協力してくださった皆様や担当教員、大学の支えがあったからこそだと思います。今後も感謝の気持ちを忘れず、活動に取り組んでいきたいです。

### 活動を通して学んだこと

実際の活動を通して、「誰に」「何を」「どのように」伝えるかを意識することの重要性を強く感じた。自分が伝えたいことだけを書くのではなく、市民や読者が何を知りたいのかを考えながら取材を行うことは想像以上に難しく、広報の奥深さを学んだ。また、この活動を通して、実践的な広報の知識だけでなく、メンバー同士で協力して取り組む姿勢や、円滑に進めるためのコミュニケーションの重要性を学ぶことができた。

### 実施主体からのコメント

#### 伊勢市情報戦略局広報広聴課 ご担当者様

私たちは、様々な情報をインターネットを通じて、容易に入手できるようになりました。その中で、紙媒体で市の全世帯に配布される「広報いせ」は、市政情報や地域情報を届ける重要な媒体となっています。各ご自宅に届いた「広報いせ」を実際に手にとり読まれるものにするために、特定のテーマを深掘りして伝える「特集記事」は、大きな役割を担っています。その「特集記事」に若者の視点を取り入れ、読者層を広げたいという思いの下、平成30年度から本プロジェクトを開始し、学生の皆さんと連携して「特集記事」の紙面制作に取り組んでいます。

今年度は、「手話」と「伊勢志摩定住自立圏域の魅力」をテーマにし、2つの特集記事を制作しました。記事の制作に向け、市内だけでなく市外へも足を運び、取材先でも積極的に話を聞いたり、実際に体験してみたりして、それぞれの思いや魅力を引き出していただき、読みたくなる「特集記事」を制作することができました。

今後も、学生の皆さんと連携しながら、ただ情報を届けるだけでなく、「広報いせ」を通じて郷土愛が生まれ、育めるように取り組んでいきます。

### 担当教員より

#### 教育開発センター 池山 敦

「伝える」ためにはまず自分たちが「知る」必要があります。昨年度の自殺予防特集に続き、今年は聴覚にハンディキャップをお持ちの方の日常をほんの少しではありますが近づけることができたのではないのでしょうか。

記事にするコンテンツの内容についての学びももちろんですが、記事作成のプロセスでさまざまなことを学べる活動だと思っています。

市民の皆さんにも認知が広がってきて、責任も感じながら、ぜひ今後も継続して取り組んで欲しい活動です。

この場をお借りして、伊勢市広報広聴課のみなさんにお礼を申し上げます。今年度も大変お世話になりました。ありがとうございました。



- ・伊勢志摩の魅力をとくさん伝えたい人
- ・社会スキルを育てたい人
- ・様々な人と関わり、自分自身を高めたい人
- ・地域貢献していきたい人



### 成果物 / 制作物

#### ● 広報いせ1月1日号

[https://www.city.ise.mie.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_001/019/680/260101all.pdf](https://www.city.ise.mie.jp/_res/projects/default_project/_page_001/019/680/260101all.pdf)

#### ● 広報いせ2月号

[https://www.city.ise.mie.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_001/019/791/260201all.pdf](https://www.city.ise.mie.jp/_res/projects/default_project/_page_001/019/791/260201all.pdf)